

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

令和 7 年度 横浜国立大学都市科学部科目等履修生募集要項

本学部において、所定の授業科目の中から 1 科目又は数科目を選択して履修することを志願する者については、本学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可します。入学を許可された者が、履修した授業科目について所定の試験を受け、合格した場合は単位が与えられます。

1. 出願資格

下記にあげる各項目の 1 つに該当する者が出願できます。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び入学時までに卒業予定の者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び入学時までに修了予定の者
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの及び入学時までにこれらに該当する見込みの者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び入学時までに修了予定の者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学時までに修了予定の者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規定（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び入学時までに合格予定の者
- (8) 大学において、個別の入学資格により、高等学校を卒業した者と同様以上の学力があると認められた者で、入学時までに 18 歳に達する者

※ 外国籍の者については、授業履修期間末日までの在留資格を取得していること

2. 入学時期と履修期間

入学時期は、春学期はじめ（4 月）、または秋学期はじめ（10 月）とします。

履修期間は、当該年度末（令和 8 年 3 月 31 日）までとします。

3. 履修科目及び単位の修得方法

- (1) 横浜国立大学では、従来の 2 学期制をさらに細分化し 1 年間を 6 つのタームに分けた『2 学期 6 ターム制』を採用しています。

都市科学部の授業科目は、半期（第 1・2 ターム又は、第 4・5 ターム）で完結する「セメスター

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

科目」と、ひとつのタームで完結する「ターム科目」で構成されています。「セメスター科目」は、半期 16 週で開講され、16 週目は試験期間となります。「ターム科目」は、1 ターム 8 週で開講され、原則として 8 週目が試験期間となります。

添付資料の科目一覧において、例えば「映像社会論講義」は開講ターム 1・2 となっていますが、これはセメスター科目であり、16 週の授業で 2 単位を認定するものです。また、「居住空間の計画 I」「居住空間の計画 II」はターム科目であり、第 1 ターム、第 2 タームにそれぞれ開講される独立した授業科目で、各々 8 週の授業で 1 単位を認定するものです。第 3 タームは夏季休業期間、第 6 タームは春季休業期間を指します。

〈令和 7 年度学事暦〉

春学期	第 1 ターム	令和 7 年 4 月 7 日 (月) ~ 6 月 6 日 (金)
	第 2 ターム	令和 7 年 6 月 9 日 (月) ~ 8 月 5 日 (火)
	第 3 ターム (夏季休業期間)	令和 7 年 8 月 6 日 (水) ~ 9 月 30 日 (火)
秋学期	第 4 ターム	令和 7 年 10 月 3 日 (金) ~ 12 月 1 日 (月)
	第 5 ターム	令和 7 年 12 月 2 日 (火) ~ 令和 8 年 2 月 12 日 (木)
	第 6 ターム (春季休業期間)	令和 8 年 2 月 13 日 (金) ~ 3 月 31 日 (火)

(2) 都市科学部で開講する学部教育科目のうち 1 タームあたり 4 単位 (半期 8 単位) (1 年間 16 単位) 以内とします。セメスター科目の場合、前半ターム 1 単位、後半ターム 1 単位として取り扱います。

(3) 単位の認定は、履修した授業科目について所定の試験等を受け、合格とされた場合授与されます。必要に応じ修得単位の証明書を発行します。

4. 出願要領

(1) 出願期間

入学時期	区分	出願期間
4 月	日本人	令和 7 年 2 月 10 日 (月) ~ 2 月 18 日 (月) ※消印有効 [窓口受付時間] 平日 9:00~12:45、13:45~17:00 ※土曜日・日曜日・祝祭日を除く。
	外国人留学生	
10 月	日本人	令和 7 年 7 月 1 日 (火) ~ 7 月 8 日 (火) ※消印有効 [窓口受付時間] 平日 9:00~12:45、13:45~17:00 ※土曜日・日曜日・祝祭日を除く。
	外国人留学生	

(2) 出願書類提出先・提出方法

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6

横浜国立大学都市科学部学務係

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

出願書類一式を揃えて、出願期間内に郵送または窓口へ直接持参のいずれかの方法で提出してください。なお、郵送する場合は、書留速達とし出願期間内に到着するようにしてください。また、封筒の表面に「都市科学部科目等履修生出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願書類

出願書類等	注意事項	備考
① 入学願書	本学部所定の用紙に必要事項を記入すること。 写真は、縦 4 cm×横 3 cmで出願前 3 ヶ月以内に撮影した上半身無帽・正面向きの写真を使用すること。写真の裏に記名すること。	1 通
②最終出身学校の卒業証明書等	最終出身学校の卒業・卒業見込、又は修了・修了見込証明書等（原本）を提出すること。卒業証明書等を発行しない国等から出願する者は、卒業（修了）証明書の写しに出身校の公印又は認印を受けたものを提出すること。公印又は認印がないものは受け付けない。	1 通
③最終出身学校の成績証明書	最終出身学校長により作成された成績証明書（原本）を提出すること。	1 通
④パスポート又は 在留カードの写し	外国人留学生については、パスポート又は在留カードの写しを添付すること。	1 通 ※外国人留学生のみ必要
⑤勤務先所属長の 承諾書	在職者については、勤務先の所属長の承諾書（所属長の印は公印を使用すること。私印は受け付けない。）を提出すること。	1 通 ※在職者のみ必要
⑥入学検定料	払込金額 9,800 円 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口で手続すること。 払込後、「振替払込受付書（お客さま用）」を貼付用紙の貼付欄に貼付して出願書類と同封すること。	1 通
⑦返信用封筒	レターパックプラス（600円）に志願者の住所・氏名を記入したもの、または角形 2 号封筒（240 mm×332 mm）に 620円分の切手（簡易書留）を貼付のうえ志願者の住所・氏名を記入したものを提出すること。	1 通
⑧その他本学が必要 と認める書類	必要に応じて請求することがある。	

※提出書類中、英語以外の外国語で作成された証明書・文書・資料等には、その日本語訳を添付すること。

(4) 入学検定料

- ①検定料 9,800 円

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

②払込場所 郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口（ATM は使用不可）

③払込方法

ア. 「払込取扱票」のご依頼人名は、出願者本人の名前を記入してください。（願書の氏名と照合）イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受付窓口で受け取る際に、必ず受付局日附印を確認してください。

ウ. 受付窓口から受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を、所定の貼付用紙に貼付のうえ、提出してください。

※土曜日、日曜日、休日は払込ができませんのでご注意ください。

※払込時に別途必要な払込手数料は、出願者本人の負担になります。

※検定料は二重に払い込まないでください。（万が一、二重に払い込んでしまった場合には、問い合わせ先にご相談ください。）

※検定料が払い込まれていない場合、又は払込済みの「振替払込受付証明書（お客さま用）」を、所定の貼付用紙の欄に貼り付けていない場合は、出願を受理しません。

※検定料は改定される場合があります。

④入学検定料の返還について

払込済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

ア. 入学検定料の返還請求ができるもの

- a) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合。
- b) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合。

イ. 返還請求の方法

都市科学部学務係に連絡してください。連絡があった後に「検定料返還請求書」をお送りしますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

【提出先】〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6

横浜国立大学都市科学部学務係

ウ. 返還額

返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となりますのでご了承ください。また、手数料が返還額を上回った場合は、返還いたしませんのでご注意ください。

5. 選考方法

提出された書類に基づき選考し、必要に応じて面接試験及び筆記試験を行います。

なお、選考結果については、本人宛に通知します。

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

6. 入学手続

合格者へは合格通知発送時に入学手続書類を送付しますので、所定の期間内に手続を行ってください。
入学手続期間については、合格者に案内します。

(1) 入学に必要な経費

入学金 28,200 円【現行】

授業料（1 単位につき） 14,800 円【現行】

※入学金、授業料は入学手続時に一括納入してください。

※入学金・授業料は、改定される場合があります。

(2) 健康診断書

入学手続の際には、「健康診断書」が必要となります。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

心身の障がい等により、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、出願する前に必ず都市科学部学務係に事前に相談してください。

また、出願後の不慮の事故などで負傷し、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

【代表的な事項】

区 分	障 が い の 程 度
視覚障がい	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障がいが高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時に医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのため配慮を必要とするもの

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

【事前相談の方法及び連絡先】

- (1) 事前相談は、様式例を参考に申請書を作成し、診断書又は身体障害者手帳（写）、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6
横浜国立大学都市科学部学務係 TEL：045-339-3124、4463

【参考】事前相談申請書様式例

(様式例) A 4 判縦 横浜国立大学長 殿 横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。 記 <ol style="list-style-type: none">1. 志望する学部・学科・出願する入試名2. 障がい等の種類、程度3. 受験上配慮を希望する事項・内容4. 修学上配慮を希望する事項・内容5. 出身学校在学中にとられていた配慮事項の内容6. その他 (添付書類) 診断書又は身体障害者手帳（写）、その他参考資料	令和 年 月 日 氏名（ふりがな） 生年月日 住所〒 電話番号
--	---

8. 注意事項

- (1) 履修科目を選択する際は、本学部のホームページのシラバスをご利用ください。
(一般公開用シラバス) https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/Public/Syllabus/
- (2) 出願後に、授業の曜日・時限、シラバス内容に変更が生じる可能性があります。入学後に時間割表等でよく確認してください。
- (3) 入学手続は、原則として本人が窓口でしてください。
- (4) いったん提出した書類及び納入金は一切返還しません。
- (5) 出願の際に卒業（修了）見込みの者は、入学時に卒業（修了）証明書等を提出してください。
- (6) 入学手続期間内に納入手続をしていない者に対しては履修許可を取り消します。
- (7) 合格通知及び手続関係書類の送付先は、日本国内に限ります。
- (8) 在留資格認定証明書の代理申請が必要な場合は、本学で提携している行政書士を紹介することができます。
- (9) 4月に入学した者が次のいずれかを希望する場合は、秋学期の出願期間内 令和7年7月1日（火）～7月8日（火）に入学願書を提出してください。この場合、検定料、入学料は不要で、授業料のみ必要となります。
 - ① 履修期間が半年の者が引き続き秋学期開講科目の履修を希望する場合

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

② 履修期間 1 年の者が新たに秋学期開講科目の履修を希望する場合

9. 個人情報の取扱いについて

出願者の提出書類等に記載された個人情報については、選考に係る用途の他、本学における調査・研究に利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報は利用又は提供されることはありません。

【お問い合わせ先】

横浜国立大学都市科学部学務係

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-6

TEL : 045-339-3124、4463 E-mail : cus.jimu@ynu.ac.jp

この募集要項は閲覧用です。
 志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

履修可能科目一覧
 (令和7年度 都市科学部 科目等履修生)

2024年10月版

※都合により変更される場合があります。

WEBシラバス http://www.ynu.ac.jp/education/ynu_education/schedule.html (令和7年度版は3月下旬公開予定)

連番	科目名	教員名	提供学科	実施方法	期間	履修条件/備考
1	映像社会論講義	ファビアン・カルパントラ	都市社会共生	対面	春	
2	音響文化論講義	中川 克志	都市社会共生	対面	春	
3	開発人類学講義	藤掛 洋子	都市社会共生	対面	春	
4	空間文化論講義	樽沼 範久	都市社会共生	対面	秋	
5	現代芸術論講義	平倉 圭	都市社会共生	対面	春	
6	現代都市文化論講義	清田 友則	都市社会共生	対面	秋	
7	現代メディア論講義	小田原のどか	都市社会共生	対面	未定	
8	コミュニティデザイン講義	佐藤 峰	都市社会共生	対面	秋	
9	国際社会学講義	長谷川 秀樹	都市社会共生	対面	秋	
10	国際政治学講義	鎌原 勇太	都市社会共生	遠隔	春	
11	国際政治経済論講義	梶島 洋美	都市社会共生	対面	秋	
12	ジェンダーと共生(開発)	藤掛 洋子	都市社会共生	対面	⑤	
13	地域社会と公共性講義	姫野 宏輔	都市社会共生	対面	春	
14	都市社会学講義	三浦 倫平	都市社会共生	対面	秋	
15	都市政策論講義	齊藤 麻人	都市社会共生	対面	春	
16	都市文化マネジメント講義	小宮 正安	都市社会共生	対面	秋	(奇数年開講)
17	都市文芸文化論講義	彦江 智弘	都市社会共生	対面	春	
18	東アジア近現代史講義	朴 祥美	都市社会共生	対面	春	2025年度開講
19	東アジア都市社会論講義	辻 大和	都市社会共生	対面	春	
20	文化人類学講義	松本 尚之	都市社会共生	併用(対面系)	秋	
21	ジェンダー社会論講義	平野 恵子	都市社会共生	対面	春	
22	居住空間の計画 I	藤岡 泰寛	建築	対面	①	
23	居住空間の計画 II	藤岡 泰寛	建築	対面	②	
24	建築環境計画 I	田中 稲子	建築	対面	①	
25	建築環境計画 II	田中 稲子	建築	対面	②	
26	建築構造計画と構造デザイン I	松本由香 他	建築	対面	①	
27	建築構造計画と構造デザイン II	松本由香 他	建築	対面	②	
28	建築構法 I	江口 亨	建築	対面	④	
29	建築構法 II	江口 亨	建築	対面	⑤	
30	建築熱・空気環境 I	清野 友規	建築	対面	④	
31	建築熱・空気環境 II	清野 友規	建築	対面	⑤	
32	西洋建築史 I	守田 正志	建築	対面	①	
33	西洋建築史 II	守田 正志	建築	対面	②	
34	都市環境設備計画 I	吉田 聡	建築	対面	①	
35	都市環境設備計画 II	吉田 聡	建築	対面	②	
36	都市環境リスク共生論A	吉田 聡、種市慎也	建築	対面	④	
37	都市環境リスク共生論B	吉田 聡、種市慎也	建築	対面	⑤	
38	都市と都市計画 I	伊 莊植	建築	対面	④	
39	都市と都市計画 II	伊 莊植	建築	対面	⑤	
40	日本建築史 I	大野 敏	建築	対面	④	
41	日本建築史 II	大野 敏	建築	対面	⑤	
42	人間生活と建築計画 I	藤岡 泰寛	建築	対面	④	
43	人間生活と建築計画 II	藤岡 泰寛	建築	対面	⑤	
44	都市計画とまちづくり I	野原 卓	建築	対面	①	
45	都市計画とまちづくり II	野原 卓	建築	対面	②	
46	近代建築史A	守田 正志	建築	対面	①	
47	近代建築史B	大野 敏	建築	対面	②	
48	建築音・光環境A	田中 稲子	建築	対面	①	
49	建築音・光環境B	田中 稲子	建築	対面	②	
50	建築材料	河端 昌也	建築	対面	春	
51	海岸防災工学 I	鈴木 崇之	都市基盤	対面	①	
52	海岸防災工学 II	鈴木 崇之	都市基盤	対面	②	
53	建設材料とリサイクル I	藤山 知加子	都市基盤	対面	①	
54	建設材料とリサイクル II	藤山 知加子	都市基盤	対面	②	
55	構造力学 II	田村 洋	都市基盤	対面	⑤	
56	構造力学 III	田村 洋	都市基盤	対面	①	
57	構造力学 IV	勝地 弘	都市基盤	対面	②	
58	資源循環・廃棄物学 I	早野 公敏	都市基盤	対面	①	
59	資源循環・廃棄物学 II	早野 公敏	都市基盤	対面	②	
60	地震防災都市論 I	小松 怜史	都市基盤	対面	④	
61	地震防災都市論 II	小松 怜史	都市基盤	対面	⑤	
62	シミュレーションのための情報リテラシー I	菊本 統	都市基盤	対面	②	
63	シミュレーションのための情報リテラシー II	菊本 統	都市基盤	対面	②	
64	水理学 II	鈴木 崇之	都市基盤	対面	②	
65	水理学 III	比嘉 紘士	都市基盤	対面	④	
66	水理学 IV	比嘉 紘士	都市基盤	対面	⑤	
67	測量学	田中 伸治	都市基盤	対面	①	
68	鉄筋コンクリート構造	小松 怜史	都市基盤	対面	⑤	
69	都市基盤安全学入門 I	各教員	都市基盤	対面	①	
70	都市基盤安全学入門 II	各教員	都市基盤	対面	②	
71	都市基盤解析論	安部 遼祐	都市基盤	対面	秋	
72	都市基盤計画論	松行 美帆子	都市基盤	対面	⑤	
73	都市基盤構造力学	勝地 弘	都市基盤	対面	④	
74	都市基盤材料複合力学	小松 怜史	都市基盤	対面	④	
75	都市基盤水理学	鈴木 崇之	都市基盤	対面	①	
76	都市基盤土質力学	菊本 統	都市基盤	対面	①	
77	地域・都市計画	松行 美帆子	都市基盤	対面	④	
78	都市景観設計 I	末松 慎介	都市基盤	対面	④	
79	都市景観設計 II	末松 慎介	都市基盤	対面	⑤	
80	土質力学 II	菊本 統	都市基盤	対面	①	
81	土質力学 III	早野 公敏	都市基盤	対面	④	
82	土質力学 IV	早野 公敏	都市基盤	対面	⑤	
83	資源循環・廃棄物学 I	早野 公敏	都市基盤	対面	①	
84	資源循環・廃棄物学 II	早野 公敏	都市基盤	対面	②	
85	都市交通計画	安部 遼祐	都市基盤	対面	①	
86	建設の国際プロジェクト・マネジメント I	中村 信也 他	都市基盤	対面	④	
87	建設の国際プロジェクト・マネジメント II	中村 信也 他	都市基盤	対面	⑤	
88	構造動力学 I	山田 均	都市基盤	対面	①	
89	構造動力学 II	山田 均	都市基盤	対面	②	
90	メンテナンス工学 I	細田 暁	都市基盤	対面	④	
91	メンテナンス工学 II	細田 暁	都市基盤	対面	⑤	

この募集要項は閲覧用です。
 志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

連番	科目名	教員名	提供学科	実施方法	期間	履修条件/備考
92	環境水理学Ⅰ	比嘉紘士	都市基盤	対面	④	
93	環境水理学Ⅱ	比嘉紘士	都市基盤	対面	⑤	
94	公共交通工学	安部 遼祐	都市基盤	対面	②	
95	鋼構造と都市インフラⅠ	田村 洋	都市基盤	対面	④	
96	鋼構造と都市インフラⅡ	田村 洋	都市基盤	対面	⑤	
97	交通工学技術論	田中 伸治	都市基盤	対面	⑤	
98	交通工学理論	田中 伸治	都市基盤	対面	④	
99	地盤リスク工学Ⅰ	崔 瑛	都市基盤	対面	④	
100	地盤リスク工学Ⅱ	崔 瑛	都市基盤	対面	⑤	
101	都市と地盤環境Ⅰ	保高 徹生	都市基盤	対面	④	
102	都市と地盤環境Ⅱ	保高 徹生	都市基盤	対面	⑤	
103	複合構造	藤山知加子	都市基盤	対面	⑤	
104	プレストレストコンクリート構造	山野辺 慎一 他	都市基盤	対面	④	
105	海洋生物学Ⅰ	下出 信次	環境リスク共生	対面	④	
106	海洋生物学Ⅱ	下出 信次	環境リスク共生	対面	⑤	
107	環境汚染の科学Ⅰ	小林 剛	環境リスク共生	対面	①	
108	環境汚染の科学Ⅱ	小林 剛	環境リスク共生	対面	②	
109	環境法Ⅰ	及川 敬貴	環境リスク共生	対面	①	
110	環境法Ⅱ	及川 敬貴	環境リスク共生	対面	④	
111	高齢社会とリスクA	安藤 孝敏	環境リスク共生	対面	④	
112	高齢社会とリスクB	安藤 孝敏	環境リスク共生	対面	⑤	
113	古生物学Ⅰ	和仁 良二	環境リスク共生	対面	④	
114	古生物学Ⅱ	和仁 良二	環境リスク共生	対面	⑤	
115	個体群生態学・進化生態学概論Ⅰ	酒井 暁子	環境リスク共生	対面	①	
116	個体群生態学・進化生態学概論Ⅱ	酒井 暁子	環境リスク共生	対面	②	
117	里地と山地の生態学Ⅰ	小池 文人 他	環境リスク共生	対面	④	
118	里地と山地の生態学Ⅱ	酒井 暁子/中森 泰三	環境リスク共生	対面	⑤	
119	自然環境リスク共生概論A(地球と環境)	石川 正弘 他	環境リスク共生	対面	①	
120	自然環境リスク共生概論B(生物と環境)	中森 泰三 他	環境リスク共生	対面	④	
121	社会環境リスク共生概論A(都市環境)	稲垣 景子 他	環境リスク共生	対面	⑤	
122	植物生理学Ⅰ	中村 達夫	環境リスク共生	対面	④	
123	植物生理学Ⅱ	中村 達夫	環境リスク共生	対面	⑤	
124	生態系と物質循環Ⅰ	鏡味 麻衣子	環境リスク共生	対面	④	
125	生態系と物質循環Ⅱ	鏡味 麻衣子	環境リスク共生	対面	⑤	
126	生態毒性学Ⅰ	中森 泰三	環境リスク共生	対面	①	
127	生態毒性学Ⅱ	中森 泰三	環境リスク共生	対面	②	
128	組織マネジメントとリスクⅠ	周佐 喜和	環境リスク共生	対面	①	
129	組織マネジメントとリスクⅡ	周佐 喜和	環境リスク共生	対面	②	
130	地球システムⅠ	山本 伸次	環境リスク共生	対面	④	
131	地球システムⅡ	山本 伸次	環境リスク共生	対面	⑤	
132	都市・地域経済学Ⅰ	遠藤 聡	環境リスク共生	対面	①	
133	都市・地域経済学Ⅱ	遠藤 聡	環境リスク共生	対面	②	
134	都市生態学	佐々木 雄大	環境リスク共生	対面	④	
135	都市リスクの空間分析とマネジメントB	稲垣 景子	環境リスク共生	対面	②	
136	保全生態学	佐々木 雄大	環境リスク共生	対面	⑤	
137	リスク共生社会基礎論	遠藤 聡 他	環境リスク共生	対面	①	
138	環境政策	及川 敬貴	環境リスク共生	対面	③	2024年度開講(隔年)
139	環境政策(英語)	及川 敬貴	環境リスク共生	対面	②	2024年度不開講(隔年)
140	グローバルビジネスとイノベーションA	周佐 喜和	環境リスク共生	対面	④	
141	地球環境変動と生命進化Ⅰ	和仁 良二	環境リスク共生	対面	①	
142	生態系設計学	佐々木 雄大	環境リスク共生	対面	②	
143	地球環境変動と生命進化Ⅱ	和仁 良二	環境リスク共生	対面	②	
144	地球物質循環論	山本 伸次	環境リスク共生	対面	①	
145	グローバルビジネスとイノベーションB	周佐 喜和	環境リスク共生	対面	⑤	
146	都市環境浄化工学Ⅰ	小林 剛	環境リスク共生	対面	①	
147	都市環境浄化工学Ⅱ	小林 剛	環境リスク共生	対面	②	
148	環境化学基礎演習Ⅰ	小林 剛	環境リスク共生	対面	④	
149	環境化学基礎演習Ⅱ	小林 剛	環境リスク共生	対面	⑤	
150	政策科学とデータ分析Ⅰ	奥山 尚子	環境リスク共生	対面	①	新規追加
151	政策科学とデータ分析Ⅱ	奥山 尚子	環境リスク共生	対面	②	新規追加
152	リスクの社会心理学Ⅰ	高木 彩	環境リスク共生	対面	④	新規追加
153	リスクの社会心理学Ⅱ	高木 彩	環境リスク共生	対面	⑤	新規追加
154	リスク心理学入門Ⅰ	高木 彩	環境リスク共生	対面	①	新規追加
155	リスク心理学入門Ⅱ	高木 彩	環境リスク共生	対面	②	新規追加
156	地球変動生態学	坂田 ゆず	環境リスク共生	対面	⑤	新規追加
157	気候変動概論Ⅰ	吉田 龍二	環境リスク共生	対面	④	新規追加
158	気候変動概論Ⅱ	吉田 龍二	環境リスク共生	対面	⑤	新規追加
159	大気科学Ⅰ	吉田 龍二	環境リスク共生	対面	①	新規追加
160	大気科学Ⅱ	吉田 龍二	環境リスク共生	対面	②	新規追加
161	人間を含む生態系のデザイン	中臺 亮介	環境リスク共生	対面	④	新規追加
162	植物と動物の現在と未来	中臺 亮介	環境リスク共生	対面	⑤	新規追加

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

交通案内図

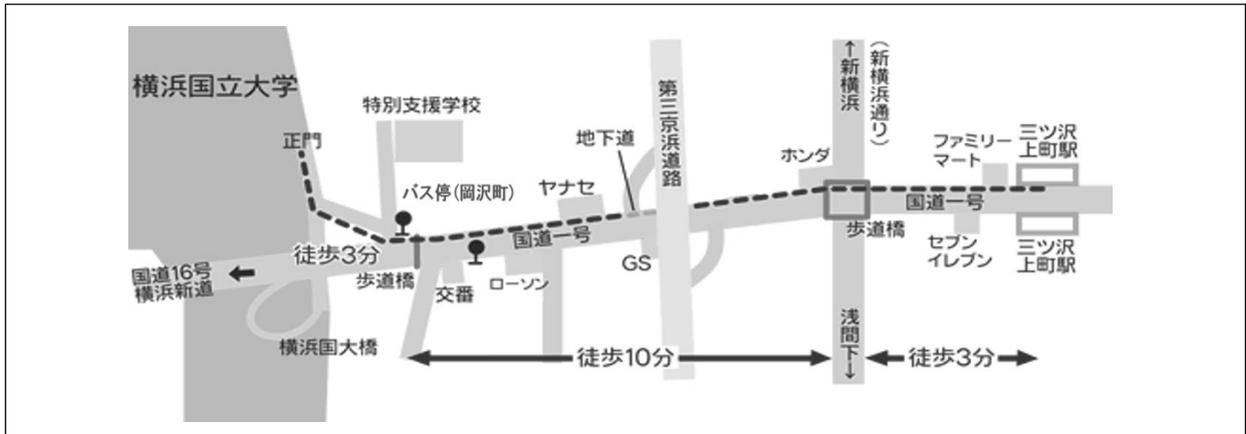
※本学までの経路の詳細は、本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

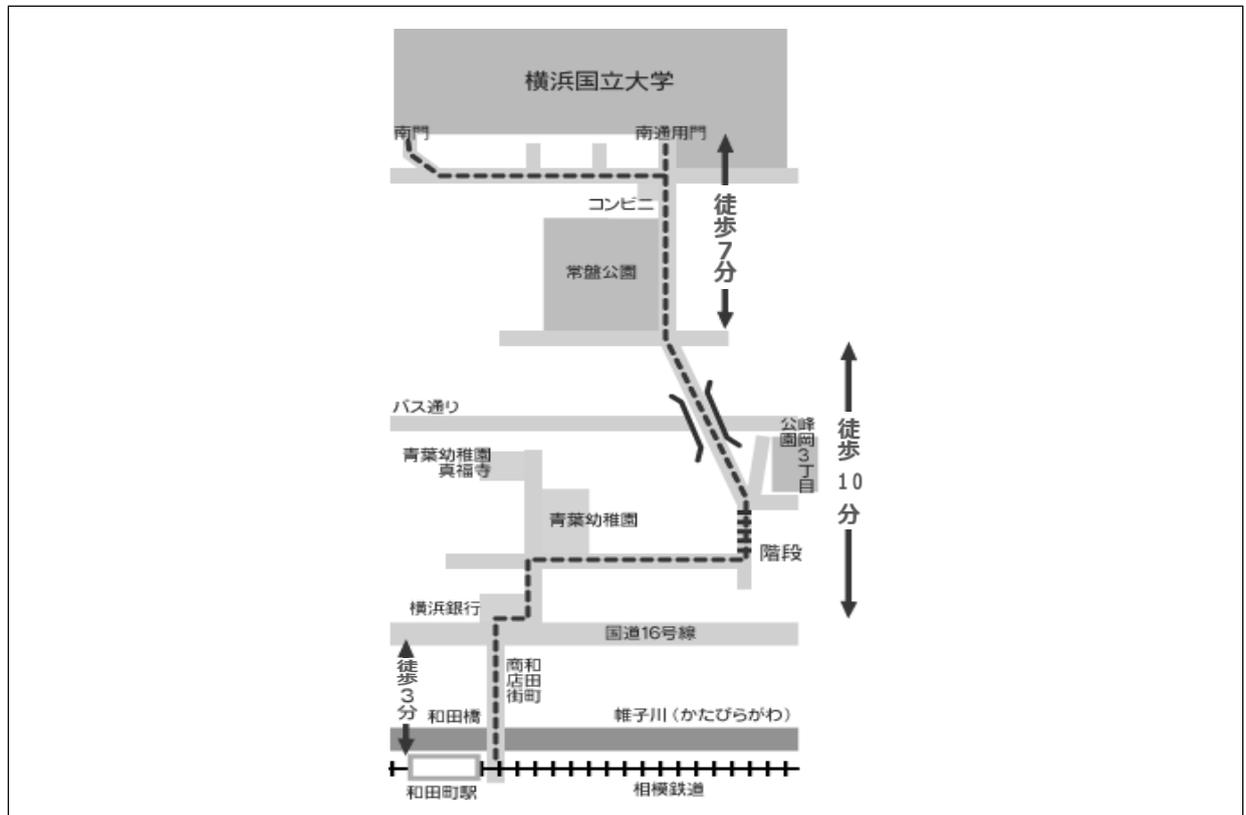
※羽沢横浜国大駅から本学までの経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

※バスは、運行本数や乗車人員に限りがあるほか、渋滞や悪天候の影響を受けやすく、予測した時間どおりに本学へ到着できないことがあるため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

①横浜市営地下鉄線【三ツ沢上町駅】（改札を出て右側 2 番出口）から正門へ



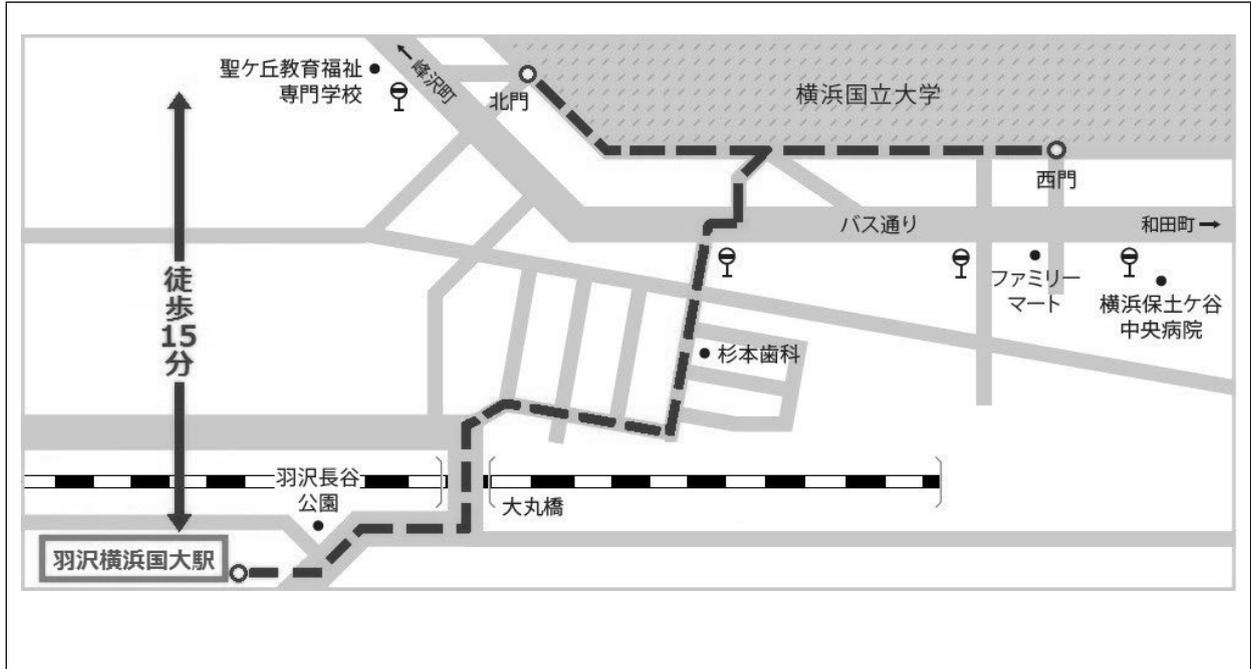
② 相鉄線 【和田町駅】から南門または南通用門へ



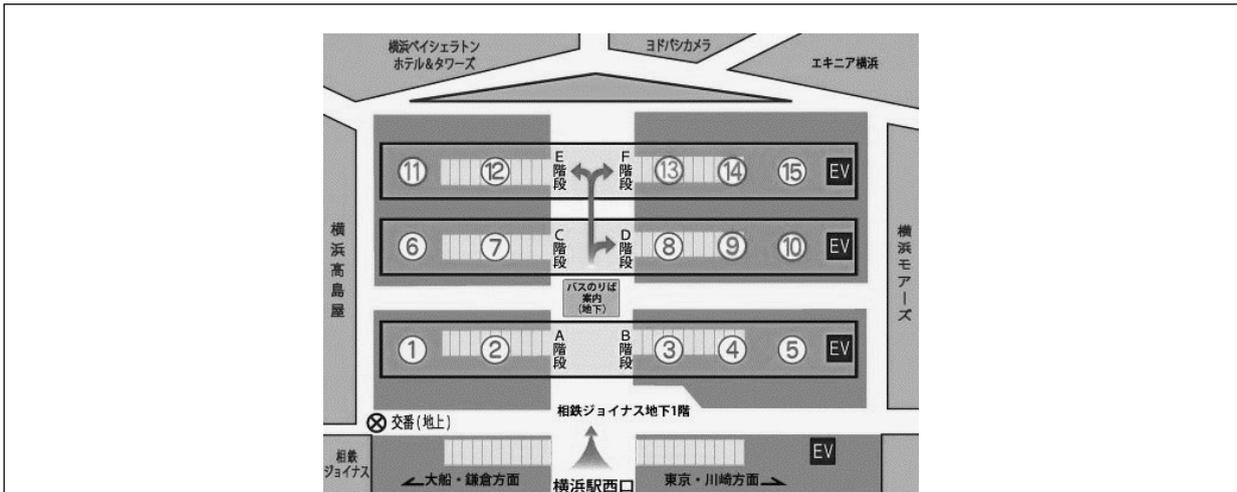
この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

③相鉄線・JR線 【羽沢横浜国大駅】から西門または北門へ



④ バス 【横浜駅西口】から正門または大学構内（平日のみ）バス停留所へ



バス会社	乗り場	行き先	【下車停留所】
横浜市営バス	11 番	202 系統「(和田町経由) 横浜駅西口行」 208 系統「(市民病院経由) 横浜駅西口行」	岡沢町
	14 番	循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
	14 番	急行 329 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
相鉄バス	10 番	浜 10 系統「横浜駅西口行」	岡沢町または大学構内（注 1）
	10 番	浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	岡沢町
神奈中バス	13 番	01 系統「中山駅行」	岡沢町

注 1 大学構内のバス停留所（横浜国立大学正門前、国大中央、国大北、国大西、大学会館前、国大南門）は、平日のみ利用可能です。

注 2 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜日は運行しない路線も含まれます。

バスの発車時刻等は、各バス会社のウェブサイト等で確認してください。

この募集要項は閲覧用です。

志願票及び払込取扱票を含む正式な要項は都市科学部学務係に請求してください。

キャンパス案内図



※大学構内のバス停は、平日のみ利用可能です。
※構内の見学について
構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。
また、下記期間は見学できません。
大学入学共通テスト試験日(令和7年 1月18日～19日)
個別学力検査等試験日(前期日程:令和7年 2月25日)
個別学力検査等試験日(後期日程:令和7年 3月12日)

【大学構内のバス停について】
路線バスは、以下の1～7の順序で停車します。(※平日のみの運行)
横浜国立大学正門前
1 ↓
国大中央 → 国大南門
2 ↓ ↑ 5 6 ↓ 7
国大北 国大南門
3 ↓ ↑ 4
国大西 (折り返し)